

編集後記

様々な人に出会うことは人生の財産だと感じるようになった。核融合にかかわりが薄くなった私が、プラ核学会の編集委員を務めるきっかけになったのは、大学時代の人とのつながりからである。それにしても、「核融合」に係るのは、10年ぶりである。新しい人との出会い、最近の核融合研究、なにより研究者の方々の熱い思いを直接感じられるこの機会は、私にとって、非常に楽しいものとなった。

そもそも、なぜここにいるのか。高校時代に阪大のレーザー研を見学し核融合に興味をもち、その興味が放射性物質・放射線全体に広がっていった。大学受験が阪神淡路大震災直後であり、実家（和歌山）よりも西の大学を受験するのが困難だった時、幸運にも静岡大学理学部化学科に入学できた。さらに幸運なことに、理学部附属放射化学研究施設（現在は放射科学研究施設）があり、放射能・放射線の化学を学ぶことができた。

大学時代、私は核融合炉材料とプラズマとの相互作用やブランケット材料中のトリチウムの挙動について研究し

た。決してまじめな学生ではなかったが、他大学、研究所での共同研究や国際会議に参加させてもらった。様々な人と出会った。

企業に入社した後、社内技術開発、中東でのプラント建設にかかわってきた。また、海外の研究所に出向もした。ここでも様々な人に出会う機会を得た。出会った人々と酒を酌み交わしながら話をするのは、非常に楽しく、勉強になる。大先輩と話をする、「昔はな…」のくんだりから始まるのが定番だが、これまでの自分が経験していないような話が始まり、ある意味とても新鮮でおもしろく、妙に納得してしまう。後輩と話をする、目を輝かしながら夢を語る熱いやつもいる。はたして、自分はどうか。大学を卒業して10年余り。中堅になりつつある年齢で、夢を語るも経験を語るもちょうどよい頃合いか。

今までに学んだことを自分の「幹」とし、今までに出会った方々の経験、ここで得た新しい出会いを取り込んで「枝」を広げようと思う。そしていつか、自分の経験が後輩たちの「枝」を広げる助けになりたいと思う。（森本泰臣）

プラズマ・核融合学会役員

会 長	小森 彰夫	副 会 長	永津 雅章（推薦委員長：研究助成，男女共同参画委員長）	吉田 善章（推薦委員長：学会賞）
常務理事	室賀 健夫（総務委員長）			
理 事	浅野 克彦 内野喜一郎 草間 義紀（広報委員長） 白神 宏之（支部・地区研究連絡会委員長） 波多野雄治	安藤 晃 小野 靖 久保 博孝 白谷 正治（研究部会連絡委員長） 福山 淳（年会運営委員長）	上田 良夫 甲斐 俊也（財務委員長） 佐々木浩一（企画委員長） 豊田 浩孝（編集委員長）	
監 事	市村 真 森田 純子			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：豊田浩孝(名大) 副委員長：波多野雄治(富山大)

エディタ：金子俊郎(東北大)，坂本瑞樹(筑波大)，中村祐司(京大)，長友英夫(阪大)，小西哲之(京大) 佐々木浩一(北大)

編集委員：安堂正己(量研機構)，石澤明宏(京大)，稲垣 滋(九大)，太田貴之(名城大)，大西直文(東北大)，小田昭紀(千葉工大)，小田卓司(ソウル国立大)，陰山 聡(神戸大)，加道雅孝(量研機構)，川崎仁晴(佐世保高専)，齋藤和史(宇都宮大)，清水昭博(核融合研)，白石裕之(大同大)，須田善行(豊橋技科大)，高橋俊樹(群馬大)，近田拓未(静岡大)，仲野友英(量研機構)，沼田龍介(兵庫県立大)，比村治彦(京都工繊大)，松岡彩子(JAXA)，宮澤順一(核融合研)，森 芳孝(光産業創成大学院大)，森本泰臣(日揮)，八木重郎(核融合研)，八柳祐一(静岡大)，山本 聡(京大)，余語覚文(阪大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第92巻第5号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

印刷 株式会社荒川印刷

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

2016年（平成28年）5月25日

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。